

## 【現職教育】

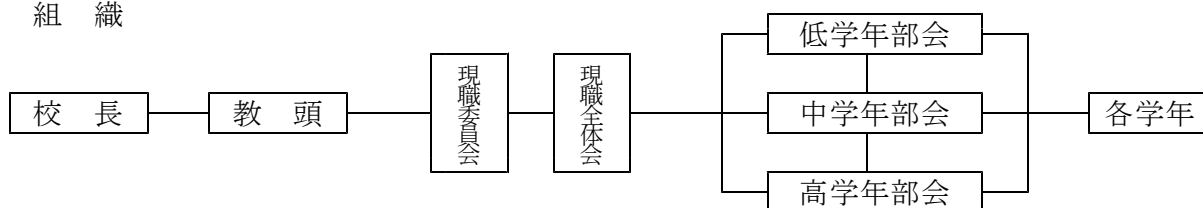
### (1) 本校の研究歴

年度	研究主題
29年	自己を見つめ、よりよく生きようとする児童の育成 －授業展開と振り返りを工夫した道徳の授業を通して－
30年	コミュニケーションを図る力を育成する授業づくり －ルーティン学習と活動に見通しをもたせた 外国語活動の授業を通して－
令和元年	自ら進んでコミュニケーションを図ろうとする児童の育成 －Can-Doリストを用いた評価と 必然性のある活動や場面設定を明確にした活動を通して－
2年	互いに考えや気持ちを伝え合えた満足感を味わえる授業づくり －明確な場面設定とルーブリックを活かした指導の工夫－

### (2) 本年度の方針

コミュニケーション活動において、場面設定を工夫したり、表現を用いる必要性を考えたりして、児童に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする楽しさを実感させる魅力的な授業実践に努めるとともに、校内研修を重ね、指導方法や授業づくりを工夫改善する。また、学級担任が主となり、各授業、各単元のめあてをルーブリックを用いて児童に明確に示すとともに、評価規準を明確にし、児童にその姿を意識させた外国語科(外国語活動)・各教科を展開する。

### (3) 組織



### (4) 研究課題

**互いに考えや気持ちを伝え合えた満足感を味わえる授業づくり**  
－明確な場面設定とルーブリックを活かした指導の工夫－

### (5) 研究の方法

- ① 学習目標を基に、身に付けさせたい力と Can-Do リストを活かしたルーブリックを作成し、評価の仕方について校内で研修を行う。
- ② Picture English を使って語句をたくさん覚えることで児童に表現の幅をもたせたり、明確な場面設定や表現を用いる必然性のある活動について校内研修を行ったりする。
- ③ 学級担任、英語専科教員、ALT の役割を明確化し、授業計画を立てる。
- ④ 全職員で授業実践を行い、その後、各部会に分かれて協議会を行う。

### (6) 実施計画

期	月		内 容
1 学 期	4	計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究主題設定, 研究組織づくり, 研究計画の立案と検討</li> <li>・ 校内研修</li> <li>・ 授業実践(低・中・高学年部会を中心に授業参観者で研究協議)</li> <li>・ 学校訪問指導案検討</li> <li>・ 1学期の実践成果と課題の確認</li> </ul>
	5	↓	
	6	研修	
	7	実践	
2 学 期	8	↓	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 校内研修</li> <li>・ 授業実践(低・中・高学年部会を中心に授業参観者で研究協議)</li> <li>・ 2学期の実践成果と課題の確認</li> <li>・ 研究の成果と分析</li> </ul>
	9	研修	
	10	実践	
	11	↓	
3 学 期	12	反省	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究実践のまとめ</li> <li>・ 本年度の研究のまとめと反省</li> <li>・ 次年度に向けての課題</li> </ul>
	1	↓	
	2	まとめ	